

令和7年度

肢体不自由教育部門

中学部

第 1, 2, 3 学年

④学習グループ

年間指導計画

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	国語・数学			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1)日常生活に必要な、国語力・数学力を身に付ける。 (2)人との関わりの中で、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)身の回りにある数や形に興味をもち、日常に生かそうとする。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	1年 367 単位時間				
使用教科書	1年 東書 国語☆☆☆☆ あかね書房の学習えほんかたかなえほんアイウエオ 教出 数学☆☆☆☆				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	敬語の使い方	6	○丁寧語、尊敬語、謙譲語 ◆公の場での言葉遣いについて知り、場面に応じて使うことができる。		・繰り返し学習できるようにして、理解の定着を図る。 ・身近な物の絵や写真を手がかりにして、文字や数量を扱う学習を行う。 ・具体的な場面を設定して、イメージしやすくする。 ・生活単元学習などの学習内容と関連させて、生活に即した数量として分かるように工夫する。
5	時刻と時間	6	○時計の読み方、時間 ◆簡単な時計の読み方や時間を理解できる。		
6	ニュース調べ	7	○いつ、どこで、だれが、何をしたかを短い言葉でまとめる。 ◆新聞やインターネットでニュースを調べ、自分の言葉で表現できる。		
7	図形	6	○形の弁別、形の性質、平面と立体 ◆基本的な図形の性質を知り、身の周りのものの形を図形として捉える。		
9	取材して伝えよう	15	○インタビューをして、聞いたことをメモする。 ○取材した内容を発表する。 ◆伝えたいことをはっきりとさせて質問できる。 ◆相手や場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。		
10					
11	金銭	6	○硬貨・紙幣の種類 ◆金銭について、身の回りの生活と結び付けて考えることができる。		
12	年賀状を書こう	6	○はがきの書き方 ◆相手への気持ちを言葉で表現できる。		
1	書道	6	○毛筆のための道具の使い方を知る。 ◆自分の名前や好きな言葉を、毛筆で書くことができる。		
2	重さ、量	7	○重い・軽いとはかりの使い方、かさ比べ、単位 ◆重さや量の概念を理解し、区別することができる。		
3	文章を書いて伝えよう	5	○相手に応じたメッセージや言葉遣いを用いる。 ◆自分の気持ちを、相手や場面に応じた言葉遣いで書き表すことができる。		
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実 ③グループ活動	297	○個々に応じた課題別学習 ○読書活動 ○係活動		①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。 ③1日の活動に見通しをもてるようにする。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部		中学部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名		国語・数学			学習グループ名	中④
目標・ねらい		(1)日常生活に必要な、国語力・数学力を身に付ける。 (2)人との関わりの中で、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)身の回りにある数や形に興味をもち、日常に生かそうとする。				
担当教職員 *学校介護職員		萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数		2年 365 単位時間				
		2年 東書 国語☆☆☆☆☆ あかね書房の文字の絵本かんじ② 教出 数学☆☆☆☆☆				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）			指導上の留意点及び工夫
4	敬語の使い方	6	○丁寧語、尊敬語、謙譲語 ◆公の場での言葉遣いについて知り、場面に応じて使うことができる。			・繰り返し学習できるようにして、理解の定着を図る。 ・身近な物の絵や写真を手がかりにして、文字や数量を扱う学習を行う。 ・具体的な場面を設定して、イメージしやすくする。 ・生活単元学習などの学習内容と関連させて、生活に即した数量として分かるように工夫する。
5	時刻と時間	6	○時計の読み方、時間 ◆簡単な時計の読み方や時間を理解できる。			
6	ニュース調べ	7	○いつ、どこで、だれが、何をしたかを短い言葉でまとめる。 ◆新聞やインターネットでニュースを調べ、自分の言葉で表現できる。			
7	図形	6	○形の弁別、形の性質、平面と立体 ◆基本的な図形の性質を知り、身の周りのものの形を図形として捉える。			
9	取材して伝えよう	15	○インタビューをして、聞いたことをメモする。 ○取材した内容を発表する。 ◆伝えたいことをはっきりとさせて質問できる。 ◆相手や場面に応じた適切な言葉遣いを身につける。			
10						
11	金銭	6	○硬貨・紙幣の種類 ◆金銭について、身の回りの生活と結び付けて考えることができる。			
12	年賀状を書こう	6	○はがきの書き方 ◆相手への気持ちを言葉で表現できる。			
1	書道	6	○毛筆のための道具の使い方を知る。 ◆自分の名前や好きな言葉を、毛筆で書くことができる。			
2	重さ、量	7	○重い・軽いとはかりの使い方、かさ比べ、単位 ◆重さや量の概念を理解し、区別することができる。			
3	文章を書いて伝えよう	5	○相手に応じたメッセージや言葉遣いを用いる。 ◆自分の気持ちを、相手や場面に応じた言葉遣いで書き表すことができる。			
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実 ③グループ活動	295	○個々に応じた課題別学習 ○読書活動 ○係活動			①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。 ③1日の活動に見通しをもてるようにする。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	国語・数学			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1)日常生活に必要な、国語力・数学力を身に付ける。 (2)人との関わりの中で、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)身の回りにある数や形に興味をもち、日常に生かそうとする。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	3年 360 単位時間				
	3年 好学社 アレクサンダとぜんまいねずみ 戸田デザイン研究所 とけいのえほん				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	敬語の使い方	6	○丁寧語、尊敬語、謙譲語 ◆公の場での言葉遣いについて知り、場面に応じて使うことができる。		・繰り返し学習できるようにして、理解の定着を図る。 ・身近な物の絵や写真を手がかりにして、文字や数量を扱う学習を行う。 ・具体的な場面を設定して、イメージしやすくする。 ・生活単元学習などの学習内容と関連させて、生活に即した数量として分かるように工夫する。
5	時刻と時間	6	○時計の読み方、時間 ◆簡単な時計の読み方や時間を理解できる。		
6	ニュース調べ	7	○いつ、どこで、だれが、何をしたかを短い言葉でまとめる。 ◆新聞やインターネットでニュースを調べ、自分の言葉で表現できる。		
7	図形	6	○形の弁別、形の性質、平面と立体 ◆基本的な図形の性質を知り、身の周りのものの形を図形として捉える。		
9	取材して伝えよう	15	○インタビューをして、聞いたことをメモする。 ○取材した内容を発表する。 ◆伝えたいことをはっきりとさせて質問できる。 ◆相手や場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。		
10					
11	金銭	6	○硬貨・紙幣の種類 ◆金銭について、身の回りの生活と結び付けて考えることができる。		
12	年賀状を書こう	6	○はがきの書き方 ◆相手への気持ちを言葉で表現できる。		
1	書道	6	○毛筆のための道具の使い方を知る。 ◆自分の名前や好きな言葉を、毛筆で書くことができる。		
2	重さ、量	7	○重い・軽いとはかりの使い方、かさ比べ、単位 ◆重さや量の概念を理解し、区別することができる。		
3	文章を書いて伝えよう	5	○相手に応じたメッセージや言葉遣いを用いる。 ◆自分の気持ちを、相手や場面に応じた言葉遣いで書き表すことができる。		
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実 ③グループ活動	290	○個々に応じた課題別学習 ○読書活動 ○係活動		①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。 ③1日の活動に見通しをもてるようにする。

学 部		中学部	学 年	第1, 3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名		音楽			学習グループ名	中④
目標・ねらい		(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。 (2) 曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴く。 (3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつ。				
担当教職員 *学校介護職員		齊藤尚寛、萩原圭介 内田麻衣、柳堀拓也、 *池田敏行、*飯田美和				
年間授業時数		1, 3年 37 単位時間				
使用教科書		1年 東書 音楽☆☆☆☆ 3年 東書 音楽☆☆☆☆☆☆				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい			指導上の工夫
4	オリエンテーション	2	○自己紹介、好きな曲の紹介。 ◆新しい友達と交流して、よい雰囲気授業に臨めるようにする。			・和やかな雰囲気を作る。 ・好きな音楽や、音楽における得意分野などをお互いを知る。
5	ソルフエージュ	5	○ソルフエージュ ◆タン・ウンの言葉掛けに合わせて、リズムを叩くことができる。			・イラストを用いた、リズムカードを使用する。 ・イラスト付きの楽譜を使用する。 ・音符と休符が意識できるようタン・ウンと言葉掛けを行う。
6	表現活動	4	○楽器演奏、鑑賞 ◆楽器物を使って、様々な雨の音を表現することができる。 ◆友達と演奏する楽しさ、繰り返し練習してできるようになる達成感を味わう。			・様々な雨の音を聴いたり、映像で鑑賞したりする。 ・雨の音を擬音で表現する。
7	鑑賞表現	3	○鑑賞、演奏 ◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。 ◆身体を動かして、鳴子を鳴らすことができる。			・踊りやすいよう、簡単な踊りにアレンジする。 ・楽器を握りやすいよう、マジックテープなどを使用する。
9	表現活動	4	○鑑賞、演奏 ◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。 ◆タイミングに合わせて、パーランクを鳴らすことができる。			・衣装や楽器に注目できるような動画を選んで鑑賞をする。
10	器楽演奏	4	○虫の音など、音楽で表現する。 ◆季節の移り変わりを、曲から感じ取ることができる。 ◆楽譜を見て音を鳴らし、虫の音を表現することができる。			・音を鳴らすときに事前に言葉掛けを行う。 ・虫の音がイメージしやすいよう。音源や動音で鳴き声を聴く。
11	表現活動	3	○鑑賞、身体活動 ◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。 ◆曲に合わせて友達と踊ることができる。			・踊りやすいよう、簡単な踊りにアレンジする。
12	歌唱表現	3	○「発声の歌」「あくびの歌」 ◆表情や姿勢を意識して、発声を行うことができる。 ○輪唱「静かな湖畔」など ◆タイミングよく、歌い始め輪唱を行うことができる。			・発声前にストレッチを行い、身体をほぐす。 ・録音を練習の最後に聴き、客観的に振り返りができるようにする。
1	器楽演奏	3	○「カルメン前奏曲」など ◆オーケストラに興味や関心をもつことができる。 ◆タイミングに合わせて音を鳴らすことができる。			・楽器のイラストを使用して、オーケストラの楽器や配置を分かりやすくする。
2		3	○「シンコペイテッド・クロック」など ◆ウッドブロックやトライアングルで時計の音を表現できる。 ◆友達と協力して曲を完成することができる。			・演奏部分を分かりやすくするため。イラストを用いた楽譜を使用する。 ・譜面や色楽譜を使って、視覚的に理解できるようにする。
3	歌唱表現	3	○歌唱、身体表現 ◆歌に続いて、踊ることができる。			・具体物や写真を用いて、歌詞の内容をイメージしやすいようにする。
通年	始まりの歌 季節の歌		○呼名 ○季節の曲 ◆見通しをもち、授業に向かう気持ちを高める。 ◆伝統的な季節の曲を聴き、四季の移り変わりを感じることができる。			・毎回同じ曲を用いることで枠組みを作り、見通しをもって授業に参加できるようにする。

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	音楽			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。 (2) 曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴く。 (3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつ。				
担当教職員 *学校介護職員	齊藤尚寛、萩原圭介 内田麻衣、柳堀拓也、 *池田敏行、*飯田美和				
年間授業時数	2年 36 単位時間				
使用教科書	2年 東書 音楽☆☆☆☆☆				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	2	○自己紹介、好きな曲の紹介。 ◆新しい友達と交流して、よい雰囲気授業に臨めるようにする。		・和やかな雰囲気を作る。 ・好きな音楽や、音楽における得意分野などをお互いを知る。
5	ソルフエージュ	5	○ソルフエージュ ◆タン・ウンの言葉掛けに合わせて、リズムを叩くことができる。		・イラストを用いた、リズムカードを使用する。 ・イラスト付きの楽譜を使用する。 ・音符と休符が意識できるようタン・ウンと言葉掛けを行う。
6	表現活動	4	○楽器演奏、鑑賞 ◆楽器物を使って、様々な雨の音を表現することができる。 ◆友達と演奏する楽しさ、繰り返し練習してできるようになる達成感を味わう。		・様々な雨の音を聴いたり、映像で鑑賞したりする。 ・雨の音を擬音で表現する。
7	鑑賞表現	3	○鑑賞、演奏 ◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。 ◆身体を動かして、鳴子を鳴らすことができる。		・踊りやすいよう、簡単な踊りにアレンジする。 ・楽器を握りやすいよう、マジックテープなどを使用する。
9	表現活動	4	○鑑賞、演奏 ◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。 ◆タイミングに合わせて、パーラックを鳴らすことができる。		・衣装や楽器に注目できるような動画を選んで鑑賞をする。
10	器楽演奏	3	○虫の音など、音楽で表現する。 ◆季節の移り変わりを、曲から感じ取ることができる。 ◆楽譜を見て音を鳴らし、虫の音を表現することができる。		・音を鳴らすときに事前に言葉掛けを行う。 ・虫の音がイメージしやすいよう。音源や動音で鳴き声を聴く。
11	表現活動	3	○鑑賞、身体活動 ◆日本の伝統的な文化を味わうことができる。 ◆曲に合わせて友達と踊ることができる。		・踊りやすいよう、簡単な踊りにアレンジする。
12	歌唱表現	3	○「発声の歌」「あくびの歌」 ◆表情や姿勢を意識して、発声することができる。 ○輪唱「静かな湖畔」など ◆タイミングよく、歌い始め輪唱をすることができる。		・発声前にストレッチを行い、身体をほぐす。 ・録音を練習の最後に聴き、客観的に振り返りができるようにする。
1	器楽演奏	3	○「カルメン前奏曲」など ◆オーケストラに興味や関心をもつことができる。 ◆タイミングに合わせて音を鳴らすことができる。		・楽器のイラストを使用して、オーケストラの楽器や配置を分かりやすくする。
2		3	○「シンコペイテッド・クロック」など ◆ウッドブロックやトライアングルで時計の音を表現できる。 ◆友達と協力して曲を完成することができる。		・演奏部分を分かりやすくするため。イラストを用いた楽譜を使用する。 ・譜面や色楽譜を使って、視覚的に理解できるようにする。
3	歌唱表現	3	○歌唱、身体表現 ◆歌に続いて、踊ることができる。		・具体物や写真を用いて、歌詞の内容をイメージしやすいようにする。
通年	始まりの歌 季節の歌		○呼名 ○季節の曲 ◆見通しをもち、授業に向かう気持ちを高める。 ◆伝統的な季節の曲を聴き、四季の移り変わりを感ずることができる。		・毎回同じ曲を用いることで枠組みを作り、見通しをもって授業に参加できるようにする。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作ることができる。 (2) 様々な素材や道具を扱って造形的な面白さを感じ取り、創作ができる。 (3) 自ら手元を動かして制作したり、発表したりすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	75 単位時間				
使用教科書	「しもんスタンプでかいてみよう」偕成社(1年)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	4	○作品紹介や手本を見て、実際に取り組む。 ◆美術ではどのような学習の種類があるのか学び、見通しをもつことができる。		・美術室内にあるものや場所を示したり、用具を実際に使って、表現方法を伝える。
5	版画制作	25	○制作に必要な道具の場所や、活動場所について確認する。 ○道具を使い、制作する。 ○2色刷りや回転版画などを行う。 ○版画制作の計画を立てる。 ○作業道具の扱い方や片付け方について知る。 ◆各工程の手順を理解することができる。 ◆各工程を分割にすることで活動に見通しをもって集中して取り組むことができる。 ◆版画用具の扱い方や手入れの仕方を学ぶことができる。 ◆様々な表現方法を知る。		・写真や動画で制作の工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・知識・技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。 ・授業で培った創意工夫、技術などを総合的に発揮できるよう、様々な技法や用具を用意する。
6					
7					
9					
10	立体制作	17	○木材の積層づくり ○紙粘土制作 ○陶芸制作 など ◆木材を積み重ねることで、手指の操作性や発想力を高める。 ◆紙粘土の扱い方について知る。 ◆陶芸制作の各工程を知り、取り組むことができる。		・実際に用具に触れて、意欲を高め完成のイメージをもつことができるようにする。 ・映像や手本を提示しながら制作工程を知り、自分が表現したいものを作って制作する。
11					
12	墨東祭に向けて舞台道具作り、作品展示	9	○舞台発表に向けて、様々なものを作る。作品展示。 ◆段ボールや紙など、様々なものを扱うことで、日々の学習に生かすことができる。		・各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。
1	日本の文化に触れよう	9	○書き初めを体験する。 ○昔の正月遊びを体験する。 ◆書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。		・友達と協力して作ることで、意欲を高める。
2	友達へのプレゼントづくり、グループでの親睦会、卒業制作	11	○メッセージカード作り ○卒業に関連した物作り ○お楽しみ会やゲーム活動 ◆気持ちを込めて丁寧に制作することができる。		・制作した作品を並べることで、振り返ることができるようにする。 ・様々な見本を用意し、生徒が選択して取り組めるようにする。
3					
通年	作品鑑賞		○美術動画や写真を鑑賞し、理解を深める。 ◆日本や世界の美術作品を鑑賞し、美術の歴史や文化を学ぶ。		身近で有名な作品を提示し、興味・関心を高める。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作ることができる。 (2) 様々な素材や道具を扱って造形的な面白さを感じ取り、創作ができる。 (3) 自ら手元を動かして制作したり、発表したりすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	73 単位時間				
使用教科書	「あそびのひろば② やさしいてづくりのプレゼント」ポプラ社（2・3年）				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	4	○作品紹介や手本を見て、実際に取り組む。 ◆美術ではどのような学習の種類があるのか学び、見通しをもつことができる。		・美術室内にあるものや場所を示したり、用具を実際に使って、表現方法を伝える。
5	版画制作	24	○制作に必要な道具の場所や、活動場所について確認する。 ○道具を使い、制作する。 ○2色刷りや回転版画などを行う。 ○版画制作の計画を立てる。 ○作業道具の扱い方や片付け方について知る。 ◆各工程の手順を理解することができる。 ◆各工程を分割にすることで活動に見通しをもって集中して取り組むことができる。 ◆版画用具の扱い方や手入れの仕方を学ぶことができる。 ◆様々な表現方法を知る。		・写真や動画で制作の工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・知識・技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。 ・授業で培った創意工夫、技術などを総合的に発揮できるよう、様々な技法や用具を用意する。
6					
7					
9					
10	立体制作	16	○木材の積層づくり ○紙粘土制作 ○陶芸制作 など ◆木材を積み重ねることで、手指の操作性や発想力を高める。 ◆紙粘土の扱い方について知る。 ◆陶芸制作の各工程を知り、取り組むことができる。		・実際に用具に触れて、意欲を高め完成のイメージをもつことができるようにする。 ・映像や手本を提示しながら制作工程を知り、自分が表現したいものを作って制作する。
11					
12	墨東祭に向けて舞台道具作り、作品展示	9	○舞台発表に向けて、様々なものを作る。作品展示。 ◆段ボールや紙など、様々なものを扱うことで、日々の学習に生かすことができる。		・各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。
1	日本の文化に触れよう	9	○書き初めを体験する。 ○昔の正月遊びを体験する。 ◆書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。		・友達と協力して作ることで、意欲を高める。
2	友達へのプレゼントづくり、グループでの親睦会、卒業制作	11	○メッセージカード作り ○卒業に関連した物作り ○お楽しみ会やゲーム活動 ◆気持ちを込めて丁寧に制作することができる。		・制作した作品を並べることで、振り返ることができるようにする。 ・様々な見本を用意し、生徒が選択して取り組めるようにする。
3					
通年	作品鑑賞		○美術動画や写真を鑑賞し、理解を深める。 ◆日本や世界の美術作品を鑑賞し、美術の歴史や文化を学ぶ。		身近で有名な作品を提示し、興味・関心を高める。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作ることができる。 (2) 様々な素材や道具を扱って造形的な面白さを感じ取り、創作ができる。 (3) 自ら手元を動かして制作したり、発表したりすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	74 単位時間				
使用教科書	「あそびのひろば② やさしいてづくりのプレゼント」ポプラ社（2・3年）				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	4	○作品紹介や手本を見て、実際に取り組む。 ◆美術ではどのような学習の種類があるのか学び、見通しをもつことができる。		・美術室内にあるものや場所を示したり、用具を実際に使って、表現方法を伝える。
5	版画制作	24	○制作に必要な道具の場所や、活動場所について確認する。 ○道具を使い、制作する。 ○2色刷りや回転版画などを行う。 ○版画制作の計画を立てる。 ○作業道具の扱い方や片付け方について知る。 ◆各工程の手順を理解することができる。 ◆各工程を分割にすることで活動に見通しをもって集中して取り組むことができる。 ◆版画用具の扱い方や手入れの仕方を学ぶことができる。 ◆様々な表現方法を知る。		・写真や動画で制作の工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・知識・技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。 ・授業で培った創意工夫、技術などを総合的に発揮できるよう、様々な技法や用具を用意する。
6					
7					
9					
10	立体制作	17	○木材の積層づくり ○紙粘土制作 ○陶芸制作 など ◆木材を積み重ねることで、手指の操作性や発想力を高める。 ◆紙粘土の扱い方について知る。 ◆陶芸制作の各工程を知り、取り組むことができる。		・実際に用具に触れて、意欲を高め完成のイメージをもつことができるようにする。 ・映像や手本を提示しながら制作工程を知り、自分が表現したいものを作って制作する。
11					
12	墨東祭に向けて舞台道具作り、作品展示	9	○舞台発表に向けて、様々なものを作る。作品展示。 ◆段ボールや紙など、様々なものを扱うことで、日々の学習に生かすことができる。		・各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。
1	日本の文化に触れよう	9	○書き初めを体験する。 ○昔の正月遊びを体験する。 ◆書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。		・友達と協力して作ることで、意欲を高める。
2	友達へのプレゼントづくり、グループでの親睦会、卒業制作	11	○メッセージカード作り ○卒業に関連した物作り ○お楽しみ会やゲーム活動 ◆気持ちを込めて丁寧に制作することができる。		・制作した作品を並べることで、振り返ることができるようにする。 ・様々な見本を用意し、生徒が選択して取り組めるようにする。
3					
通年	作品鑑賞		○美術動画や写真を鑑賞し、理解を深める。 ◆日本や世界の美術作品を鑑賞し、美術の歴史や文化を学ぶ。		身近で有名な作品を提示し、興味・関心を高める。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1, 2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	保健体育			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 積極的に体を動かすとともに、日常的に運動を行う意欲を育む。 (2) 様々な身体の使い方を体験的に学び、動きを工夫する。 (3) 友達と協力しながら活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	40 単位時間				
使用教科書	からだのえほん4からだにももし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	陸上競技 球技	11	○体育祭競技、集団行動、集合、整列 ◆活動を楽しみながら身体を動かす。 ◆運動やスポーツが心身に及ぼす効果を知る。		・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 ・リラックスして取り組めるよう、環境を整える。
5					
6	水泳 軽運動	7	○水慣れ、浮き身、水中での立位、歩行 ◆水の浮力でリラクゼーションを図る。 ◆水に慣れ、自己の能力に適した課題をもって、技能を高める。 ◆個別の課題に取り組み、歩行など水中でしかできない動きを経験する。		・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・水中でリラックスできるように1対1で入水する。 ・補助具を使用し、恐怖感や抵抗感を和らげる。 ・個に応じた課題を設定する。
7					
9					
10	球技 集団行動 ダンス	12	○球技・ゲーム・試合 ○集団行動・ダンス ○仲間と共に感じを込めて同じ動きを合わせたり、イメージを捉えて自己を表現したりする。 ◆感じを込めて踊り、集団で息を合わせる楽しさや喜びを味わう。 ◆カウントをとりながら身体を動かす。ペアになった友達とカウントを合わせる。 ◆ルールを理解し、集団で協力する力を養う。 ◆身体のいろいろな使い方を学び、楽しみながらボディーイメージを高める。		・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。 ・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。 ・個々に対して意欲的に取り組める目標を設定する。 ・興味をもちやすい個々の課題を設定する。
11					
12					
1	生涯スポーツ 武道	10	○生涯スポーツ ◆ルールを理解し、協力してゲームを行う。 ◆仲間と連携し、ゲーム展開できるようにする。相互に影響を与え、関わっていることを理解する。 ○剣道：基本動作・面・小手 ◆伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。		・様々な生涯スポーツを経験できるように種目を設定する。 ・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。 ・興味をもちやすい個々の課題を設定する。 ・的となる対象物を見やすくする。 ・実態に応じて傾斜台などを使用する。
2					
3					
通年	保健		心身の健康や安全、傷害の防止、心と身体		・体の発育について個人差があることなど、安心させることができる言葉掛けをする。また、必要に応じて、グストティーチャー等を招聘して、指導を行う。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	保健体育			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 積極的に体を動かすとともに、日常的に運動を行う意欲を育む。 (2) 様々な身体の使い方を体験的に学び、動きを工夫する。 (3) 友達と協力しながら活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書	からだのえほん4 からだにもしもし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	陸上競技 球技	10	○体育祭競技、集団行動、集合、整列 ◆活動を楽しみながら身体を動かす。 ◆運動やスポーツが心身に及ぼす効果を知る。		・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 ・リラックスして取り組めるよう、環境を整える。
5					
6	水泳 軽運動	7	○水慣れ、浮き身、水中での立位、歩行 ◆水の浮力でリラクゼーションを図る。 ◆水に慣れ、自己の能力に適した課題をもって、技能を高める。 ◆個別の課題に取り組み、歩行など水中でしかできない動きを経験する。		・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・水中でリラックスできるように1対1で入水する。 ・補助具を使用し、恐怖感や抵抗感を和らげる。 ・個に応じた課題を設定する。
7					
9					
10	球技 集団行動 ダンス	11	○球技・ゲーム・試合 ○集団行動・ダンス ○仲間と共に感じを込めて同じ動きを合わせたり、イメージを捉えて自己を表現したりする。 ◆感じを込めて踊り、集団で息を合わせる楽しさや喜びを味わう。 ◆カウントをとりながら身体を動かす。ペアになった友達とカウントを合わせる。 ◆ルールを理解し、集団で協力する力を養う。 ◆身体のいろいろな使い方を学び、楽しみながらボディーイメージを高める。		・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。 ・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。 ・個々に対して意欲的に取り組める目標を設定する。 ・興味をもちやすい個々の課題を設定する。
11					
12					
1	生涯スポーツ 武道	10	○生涯スポーツ ◆ルールを理解し、協力してゲームを行う。 ◆仲間と連携し、ゲーム展開できるようにする。相互に影響を与え、関わっていることを理解する。 ○剣道：基本動作・面・小手 ◆伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。		・様々な生涯スポーツを経験できるように種目を設定する。 ・ルールを簡潔化し、分かりやすい課題設定で協議を行う。 ・興味をもちやすい個々の課題を設定する。 ・的となる対象物を見やすくする。 ・実態に応じて傾斜台などを使用する。
2					
3					
通年	保健		心身の健康や安全、傷害の防止、心と身体		・体の発育について個人差があることなど、安心させることができる言葉掛けをする。また、必要に応じて、ゲストティーチャー等を招聘して、指導を行う。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1, 2, 3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	外国語			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や表現に慣れ親しむ。 (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。 (3) 外国を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、すすんでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。、				
担当教職員 *学校介護職員	中村美和 内田麻衣 柳堀拓也 萩原圭介 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書	五味太郎のことがとくずの絵本ABC CD付英語カードあいさつと話しことば編 CDつき楽しく歌える英語のうた				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	アルファベットを学ぼう	6	○A～Zのアルファベット・フォニックス ○名前をローマ字で書く。 ○アルファベットを使ったゲーム ◆アルファベットの大文字、小文字とその読み方を一致させ、形や書き方を知る。		・英語で簡単な挨拶をしたり、やさしい英語の指示を聞いて行動したりすることを、毎回の授業で取り入れ、繰り返し練習する。 ・身近なものを題材とした単語を、学習に取り入れる。
5					
6	クイズ大会をしよう	7	○What is this?の表現を使い、クイズに答えたり、クイズを出したりする。		・生徒の興味や関心、経験などに合った指導内容や活動を設定する。
7					
9	行き先を案内しよう	5	○go, stopなどの動詞を使い、意味を理解する。 ◆英語の指示を理解し、積極的に話す。		・他教科等で生徒が学習したことを活用して、理解を深められるようにする。
10	外国の文化を体験しよう	5	○外国の行事等を知り、外国の文化を体験する。 ◆実際に行事に関連する活動を行い、外国の文化に親しむ。		
11	色、形、数	6	○色、形、数に関連する単語を学習する。 ◆色、形、数について、英語で発音することができる。		・他者とコミュニケーションを図ることの必要性や楽しさを味わうことができるように、雰囲気作りをする。
12					
1	買い物をしよう	6	○買い物の場面で使う英語表現を知る。 ◆自分が買いたい物を、英語で話したり、選んだりできる。		
2					
3	英語の文章を聞き取ろう	3	○簡単な物語を、日本語を交えて聞き、内容を理解する。 ◆世界中でよく知られる物語にふれる。		
通年	英語の歌		○英語の歌を繰り返し聞き、単語を覚える。		

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1, 2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 必要なこと、興味・関心のあること等を調べる方法を習得する。 (2) 相手の意見を受け入れたり、考えたことを分かりやすく伝えたりできる。 (3) 新しいことに興味をもち、自ら調べたり取り組んだりすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	39 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	仲間を知ろう 校内を案内しよう	4	○自己紹介、学部、学校紹介 ◆新しく出会う友達や教職員を知り、協力しあう関係の基礎を作る。		・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 ・リラックスして取り組めるよう、環境を整える。 ・ICT機器や補助具などを使用して、ここは課題に取り組みやすいようにする。 ・一人一人の実態に応じて、補助具を工夫する。 ・活動への見通しがもてるよう、同じ学習内容を繰り返して行う。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。 ・日常生活の中での題材を設定し、主体性を伸ばすようにする。 ・実際の活動で知識や技術を身に付けられるようにする。
5	1学期の行事について調べよう 自分のことを知ろう 係活動 調べ学習	12	○1学期の行事を調べる、自己紹介カード作成 ◆1学期の行事の見通しをもつ ◆体育祭の種目を調べ、発表する。 ◆自己理解を深める。 ○係活動 ◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。 ◆係活動を行うことにより、自尊心、責任感を養う。		
6					
7					
9	2学期の行事について調べよう 友達や先生のことを知ろう 係活動 調べ学習	14	○2学期の行事を調べる、インタビュー体験 ◆2学期の行事の見通しをもつ。 ◆墨東祭について調べ、発表する。 ◆他者理解を深める。 ○係活動 ◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。 ◆係活動を行うことにより、自尊心、責任感を養う。		
10					
11					
12					
1	3学期の行事について調べよう 感謝の気持ちを伝えよう 係活動 調べ学習	9	○3学期の行事を調べる、1年間のまとめ ◆3学期の行事の見通しをもつ。 ◆感謝の気持ちを養う。 ○係活動 ◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。 ◆係活動を行うことにより、自尊心、責任感を養う。		
2					
3					

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 必要なこと、興味・関心のあること等を調べる方法を習得する。 (2) 相手の意見を受け入れたり、考えたことを分かりやすく伝えたりできる。 (3) 新しいことに興味をもち、自ら調べたり取り組んだりすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	仲間を知ろう 校内を案内しよう	4	○自己紹介、学部、学校紹介 ◆新しく出会う友達や教職員を知り、協力しあう関係の基礎を作る。		・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 ・リラックスして取り組めるよう、環境を整える。 ・ICT機器や補助具などを使用して、ここは課題に取り組みやすいようにする。 ・一人一人の実態に応じて、補助具を工夫する。 ・活動への見通しがもてるよう、同じ学習内容を繰り返して行う。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。 ・日常生活の中での題材を設定し、主体性を伸ばすようにする。 ・実際の活動で知識や技術を身に付けられるようにする。
5	1学期の行事について調べよう 自分のことを知ろう 係活動 調べ学習	12	○1学期の行事を調べる、自己紹介カード作成 ◆1学期の行事の見通しをもつ ◆体育祭の種目を調べ、発表する。 ◆自己理解を深める。 ○係活動 ◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。 ◆係活動を行うことにより、自尊心、責任感を養う。		
6					
7					
9	2学期の行事について調べよう 友達や先生のことを知ろう 係活動 調べ学習	14	○2学期の行事を調べる、インタビュー体験 ◆2学期の行事の見通しをもつ。 ◆墨東祭について調べ、発表する。 ◆他者理解を深める。 ○係活動 ◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。 ◆係活動を行うことにより、自尊心、責任感を養う。		
10					
11					
12					
1	3学期の行事について調べよう 感謝の気持ちを伝えよう 係活動 調べ学習	9	○3学期の行事を調べる、1年間のまとめ ◆3学期の行事の見通しをもつ。 ◆感謝の気持ちを養う。 ○係活動 ◆自分の役割を自覚し、できること、できないことを知る。 ◆係活動を行うことにより、自尊心、責任感を養う。		
2					
3					

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	特別活動			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 高橋大幸 保呂草健 佛京隆広 齊藤尚寛 中村美和 *小野佳子 *池田敏行 * 市野明彦				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	新入生歓迎会	2	○自己紹介、レクリエーション。 ◆新入生歓迎会を通して学部仲間や雰囲気を知る。		・自分なりの方法で自己紹介できるよう練習し、見通しをもち参加できるようにする。
5	体育祭	6	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、参加する。		・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
6	レクリエーション	3	○モルック、ゲームなど ◆レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活動する。		・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
7	1学期を振り返って	1	○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。
9	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	宿泊防災訓練	4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○目標や係活動を決め、事前準備をする。 ○頑張ったことなどを発表する。 ◆宿泊防災訓練について内容を知り、見通しをもつ ◆各自の目標を決め、主体的に参加する。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。
10	墨東祭について	8	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作を、見通しをもち主体的に参加する。		・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。
11					
12	2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。		・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
1	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
2	3年生を送る会に向けて	5	○3年生を送る会の準備をする。 ◆3年生を意識して送る準備を主体的に行う。		・これまでの送る会の写真を見て、自分達なりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
3	卒業式に向けて	3	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。		・見通しをもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。
	1年生を振り返って 進級に向けて	2	○1年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ○2年生に向けて頑張りたいことや挑戦したいことを考える。 ◆1年を振り返り、進級に向けて目標を確認する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
通年					

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	特別活動			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。				
担当教職員 *学校介護職員	牧 理 内田麻衣 丹澤聡子 西坂千恵美 高森寛太 *飯田実和 土橋みゆき				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	新入生歓迎会	2	○活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。		・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動があるか例示する。
5	体育祭	6	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、参加する。		・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
6	レクリエーション	4	○モルック、ゲームなど ◆レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活動する。		・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
7	1学期を振り返って	1	○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。
9	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	移動教室	4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○移動教室に向けて事前準備をする。 ○移動教室を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆移動教室について見通しをもつ。		・移動教室に見通しをもてるよう、昨年度の写真や映像などの資料を用意する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
10	墨東祭について	8	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作、見通しをもち主体的に参加する。		・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。
11					
12	2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。		・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
1	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
2	3年生を送る会に向けて	5	○3年生を送る会の準備をする。 ◆3年生を意識して送る準備を主体的に行う。		・これまでの送る会の写真を見て、自分達なりの送り方を考えられるように支援する。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
3	卒業式に向けて	2	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。		・見通しをもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。
	2年生を振り返って 進級に向けて	2	○2年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ○3年生に向けて頑張りたいことや挑戦したいことを考える。 ◆1年を振り返り、進級に向けて目標を確認する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。 ・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		中学部	学 年	第3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名		特別活動			学習グループ名	中④
目標・ねらい		(1) 学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。				
担当教職員 *学校介護職員		早坂あまね 柳堀拓也 宮川亜美 並木美由紀 小原瑞騎 門脇美江 *熊谷直幸 *高野悦子				
年間授業時数		37 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい			指導上の工夫
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。			・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	新入生歓迎会	2	○活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。			・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動があるか例示する。
5	体育祭	5	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち参加する。			・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
6	修学旅行	4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○修学旅行に向けて事前準備をする。 ○修学旅行を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆修学旅行について見通しをもつ。			・見学先の写真や映像などの資料を用意する。 ・他の学習グループの仲間とコミュニケーションがとれる場面を設定する。
7	1学期を振り返って	1	○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。			・自分なりの方法で発表できるよう支援する。
9	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。			・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	卒業制作①	4	○卒業制作（オリジナル時計作り）に取り組む。 ◆時計のデザイン選びやフレームの色付けなどを教員と一緒に取り組むことができる。			自分でデザインや色を選択することができるように二択で提示する。個々の特性に合わせた補助具を使用して製作する。
10	墨東祭へ向けて	8	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作を、見通しをもち主体的に参加する。			・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 ・仲間を意識して考えたり、発表したりできる活動を設定する。
11						
12	2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。			・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
1	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。			・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
2	卒業制作①	5	○卒業制作（オリジナル時計作り）に取り組む。 ◆時計のデザイン選びやフレームの色付けなどを教員と一緒に取り組むことができる。			自分でデザインや色を選択することができるように二択で提示する。個々の特性に合わせた補助具を使用して製作する。
3	卒業に向けて	4	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。			・見通しがもてるように、絵カードを提示したり、言葉掛けをしたりする。
通年						

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部		中学部	学 年	第1, 2, 3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名		自立活動			学習グループ名	中④
目標・ねらい		一人一人の生徒が自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服できるように、自立活動の6区分に則って指導を行う。				
担当教職員 *学校介護職員		萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数		71 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）			指導上の留意点及び工夫
通年	課題別学習	36	○個別学習（言葉や数に関すること、発声・発語、やり取り、コミュニケーションに関することなど） ○健康状態の維持・改善に関すること。 ○状況の理解と変化への対応に関すること ○集団への参加の基礎に関すること ○日常生活に必要な基本動作に関すること ◆それぞれの課題に取り組み、障害による困難を改善する。			・保護者、医師、外部専門家、自立活動担当教員と連携を図り、継続的に取り組めるようにする。 ・実態に即した課題や教材を設定する。 ・活動しやすい教室環境を整える。 ・ウォーカー等の教具を使用する。 ・タブレット端末やパズルなどの教材を使用する。
	特設自立活動	35	○身体を取り組み（リラクゼーション、ストレッチ、ブリッジ、寝返り、四つ這い、膝立ち、座位、立ち直り、立ち上がり、立位、歩行、階段昇降、上肢操作など） ◆誘導されたように筋緊張をゆるめる。 ◆筋緊張をゆるめて筋を伸ばす。 ◆体幹を進展させて座位を行う。 ◆重心を前方へ移し、立ち上がる。 ◆足で踏ん張りバランスをとる。 ◆体幹・骨盤を回旋させて歩行を行う。 ◆手すりにつかまり、階段昇降をする。 ◆両手を使って教材を操作する。			

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	日常生活の指導			学習グループ名	中④
目標・ねらい	自分でできること自分で決めることを増やし、身辺自立に向けて取り組む。 身辺処理や学習環境の整備に対する意識や態度を育て、安全に日常生活を過ごす力を付ける。 集団の中のルールやマナーを学び、周囲の人と良好な関係を作る。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	75 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
通年	荷物整理	75	○上着や連絡帳、提出物などを、所定の場所に片付ける。 ◆自分の荷物を整理し、管理する。		・生徒の実態に合わせた指導方法や手順を工夫して、分かりやすく示す。 ・活動しやすい環境を整備する。
	健康管理		○自分自身の体調の変化に注意を払い、適切に休息・水分補給等を行う。 ◆自分の体調を整えるために、自己管理ができるようになる。		・生徒の主体的な活動や意欲を引き出し、支援を最小限にする。 ・手洗い等の衛生マナーを主体的に行えるよう、言葉掛けをしたり、できたとき称賛する。
	清潔		○衛生的な手洗いや食後の歯磨き、清潔に保つためのルールやマナー。 ◆自分の身体や身の周りの物を清潔に保ち、快適に生活することを学ぶ。		・身体の機能の向上や維持につながる活動を取り入れる。
	排泄		○排せつに関して、必要な支援を依頼して、健康と衛生を保つ。 ◆適切な言葉遣いで支援を依頼したり、時間を意識したりする。。		
	係活動		○役割を分担し、決められた係の仕事をする。 ◆自分の役割に責任をもち、主体的に活動する。		
	時間を考えた行動、準備、片付け		○休み時間と授業時間を切り替え、授業に必要な物を準備したり、片付けたりする。 ◆主体的に行動する意識を育て、生活リズムを身に付ける。		
	適切な運動及び筋力の維持・教科		○様々な運動を通して、関節の拘縮や変形を予防するとともに、筋力の維持、強化ができるようにする。 ◆身体の筋緊張などの調節が図れ、様々な身体の機能の向上や維持につなげられる。		
	相手や場面に応じたルール、マナー		○安全に留意して、適切な車いすの操作や移動をする。 ○周囲の状況を見て、安全に行動する。 ○相手や場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。 ◆自分のすべきことを理解して、周囲の人と良好なコミュニケーションをとる。		

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2,3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	日常生活の指導			学習グループ名	中④
目標・ねらい	自分でできること自分で決めることを増やし、身辺自立に向けて取り組む。 身辺処理や学習環境の整備に対する意識や態度を育て、安全に日常生活を過ごす力を付ける。 集団の中のルールやマナーを学び、周囲の人と良好な関係を作る。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	74 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
通年	荷物整理	74	○上着や連絡帳、提出物などを、所定の場所に片付ける。 ◆自分の荷物を整理し、管理する。		・生徒の実態に合わせた指導方法や手順を工夫して、分かりやすく示す。 ・活動しやすい環境を整備する。
	健康管理		○自分自身の体調の変化に注意を払い、適切に休息・水分補給等を行う。 ◆自分の体調を整えるために、自己管理ができるようになる。		・生徒の主体的な活動や意欲を引き出し、支援を最小限にする。 ・手洗い等の衛生マナーを主体的に行えるよう、言葉掛けをしたり、できたとき称賛する。
	清潔		○衛生的な手洗いや食後の歯磨き、清潔に保つためのルールやマナー。 ◆自分の身体や身の周りの物を清潔に保ち、快適に生活することを学ぶ。		・身体の機能の向上や維持につながる活動を取り入れる。
	排泄		○排せつに関して、必要な支援を依頼して、健康と衛生を保つ。 ◆適切な言葉遣いで支援を依頼したり、時間を意識したりする。。		
	係活動		○役割を分担し、決められた係の仕事をする。 ◆自分の役割に責任をもち、主体的に活動する。		
	時間を考えた行動、準備、片付け		○休み時間と授業時間を切り替え、授業に必要な物を準備したり、片付けたりする。 ◆主体的に行動する意識を育て、生活リズムを身に付ける。		
	適切な運動及び筋力の維持・教科		○様々な運動を通して、関節の拘縮や変形を予防するとともに、筋力の維持、強化ができるようにする。 ◆身体の筋緊張などの調節が図れ、様々な身体の機能の向上や維持につなげられる。		
	相手や場面に応じたルール、マナー		○安全に留意して、適切な車いすの操作や移動をする。 ○周囲の状況を見て、安全に行動する。 ○相手や場面に応じた適切な言葉遣いを身に付ける。 ◆自分のすべきことを理解して、周囲の人と良好なコミュニケーションをとる。		

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第1学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	生活単元学習			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 様々な活動を通して、生活に役立つ知識や技能を身に付ける。 (2) 学習したことを活用して、生活上の課題解決に取り組むことができる。 (3) 集団の中で主体的に友達と協力しながら必要な知識や決まりを知り、課題に取り組むことができる。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	148 単位時間				
使用教科書	1年 東書 社会☆☆☆☆ 東書 理科☆☆☆☆ 東書 職業・家庭☆☆☆☆ 富山房 もりのともだち 新装版				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	新学期の準備、説明 教室をつくろう 掲示物の作成 季節を感じよう ～春～ 体育祭へ向けて	44	○自己紹介でお互いを知る。掲示物や目標の作成。 ◆グループ集団や新学期に向けて活動や目標などについて意識を高める。 ○植物の栽培や観察、季節に関連した制作をする。 ◆校内などで自然の事物などに触れ、戸外の心地よさや季節を感じることができる。 ○映像を見たり絵に描いたりする。 ○各演技種目の練習をする。 ◆体育祭へ向けて、自己の課題へ向き合うことができる。		・活動内容を教員が実際に手本を示すことで、生徒が活動内容を理解できるようにする。 ・写真や動画で工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・共同制作から始めて、取り組む活動内容についてイメージを膨らませることができる。
5					
6					
7	季節を感じよう ～夏～ 世界の文化に触れよう	30	○映像を見たり絵に描いたりする。 ○植物の栽培や観察、季節に関連した制作をする。 ○夏に関連した体験をする。 ◆社会見学へ向けて、見学先についての理解を深める。 ○社会見学事前事後学習 ◆世界の文化を体験しながら親しむことができる。 ○ICT機器を活用し、映像を見ながら世界の文化などを学ぶ。		・知識・技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。授業で培った創意工夫、技術などを総合的に発揮できるよう、様々な題材や教材を用意する。 ・実際に教材に触れて、意欲を高めイメージをもつことができるようにする。
9					
10	墨東祭に向けて 舞台道具作り 作品展示 など 季節を感じよう ～秋～	36	○映像を見たり絵に描いたりする。 ○秋に関連した体験をする。 ○行事に向けて、様々なものを作る。 ○作品展示 ◆段ボールや紙など、様々なものを扱うことで、日々の学習に生かすことができる。 ◆各工程を丁寧に取り組むことができる。 ◆これまで制作したものを振り返り、達成感を高めることができる。		各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。
11					友達と協して作ることで、意欲を高める。
12					制作した作品を並べることで、振り返ることができるようにする。
1	季節を感じよう ～冬～ 1年のまとめをしよう	38	○冬に関する音や歌などを聞いたり、季節に関連した制作をしたりする。 ○校内や近隣の落ち葉などを使った制作活動をする。 ◆冬に関する物や音楽などに触れ、季節を感じることができる。 ○メッセージカード作りをする。 ○卒業に関連した送る会の企画、進行をする。 ◆気持ちを込めて開催することができる。		映像や手本を提示しながら制作工程を知り、自分が表現したいものを作って制作する。
2					各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。
3					様々な見本を用意し、生徒が選択して取り組めるようにする。
通年	読書活動		○校内の図書コーナーを利用する。 ◆様々な本を読んで、歴史や文化を学ぶ。		身近で有名な本を提示し、興味・関心を高める。

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2,3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	生活単元学習			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 様々な活動を通して、生活に役立つ知識や技能を身に付ける。 (2) 学習したことを活用して、生活上の課題解決に取り組むことができる。 (3) 集団の中で主体的に友達と協力しながら必要な知識や決まりを知り、課題に取り組むことができる。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 西坂千恵美 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	146 単位時間				
使用教科書	2年 東書 社会☆☆☆☆☆ 東書 理科☆☆☆☆☆ 東書 職業・家庭☆☆☆☆☆ B.L出版 手と手をつないで 3年 東書 社会☆☆☆☆☆ 東書 理科☆☆☆☆☆ 東書 職業・家庭☆☆☆☆☆ B.L出版 手と手をつないで				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	新学期の準備、説明 教室をつくろう 掲示物の作成 季節を感じよう ～春～ 体育祭へ向けて	44	○自己紹介でお互いを知る。掲示物や目標の作成。 ◆グループ集団や新学期に向けて活動や目標などについて意識を高める。 ○植物の栽培や観察、季節に関連した制作をする。 ◆校内などで自然の事物などに触れ、戸外の心地よさや季節を感じることができる。 ○映像を見たり絵に描いたりする。 ○各演技種目の練習をする。 ◆体育祭へ向けて、自己の課題へ向き合うことができる。		・活動内容を教員が実際に手本を示すことで、生徒が活動内容を理解できるようにする。 ・写真や動画で工程を提示し、活動内容に見通しがもてるようにする。 ・共同制作から始めて、取り組む活動内容についてイメージを膨らませることができる。
5					
6					
7	季節を感じよう ～夏～ 世界の文化に触れよう	30	○映像を見たり絵に描いたりする。 ○植物の栽培や観察、季節に関連した制作をする。 ○夏に関連した体験をする。 ◆社会見学へ向けて、見学先についての理解を深める。 ○社会見学事前事後学習 ◆世界の文化を体験しながら親しむことができる。 ○ICT機器を活用し、映像を見ながら世界の文化などを学ぶ。		・知識・技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。授業で培った創意工夫、技術などを総合的に発揮できるよう、様々な題材や教材を用意する。 ・実際に教材に触れて、意欲を高めイメージをもつことができるようにする。
9					
10	墨東祭に向けて 舞台道具作り 作品展示 など 季節を感じよう ～秋～	36	○映像を見たり絵に描いたりする。 ○秋に関連した体験をする。 ○行事に向けて、様々なものを作る。 ○作品展示 ◆段ボールや紙など、様々なものを扱うことで、日々の学習に生かすことができる。 ◆各工程を丁寧に取り組むことができる。 ◆これまで制作したものを振り返り、達成感を高めることができる。		各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。
11				友達と協して作ることで、意欲を高める。	
12				制作した作品を並べることで、振り返ることができるようにする。	
1	季節を感じよう ～冬～ 1年のまとめをしよう	36	○冬に関する音や歌などを聞いたり、季節に関連した制作をしたりする。 ○校内や近隣の落ち葉などを使った制作活動をする。 ◆冬に関する物や音楽などに触れ、季節を感じることができる。 ○メッセージカード作りをする。 ○卒業に関連した送る会の企画、進行をする。 ◆気持ちを込めて開催することができる。		映像や手本を提示しながら制作工程を知り、自分が表現したいものを作って制作する。
2				各工程で扱う用具を提示し、教員と一緒に取り組むことで、達成感を高める。	
3				様々な見本を用意し、生徒が選択して取り組めるようにする。	
通年	読書活動		○校内の図書コーナーを利用する。 ◆様々な本を読んで、歴史や文化を学ぶ。		身近で有名な本を提示し、興味・関心を高める。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	作業学習			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 各自の課題に対しての、責任をもって仕事を果たす力を育てる。 (2) 一定時間集中して丁寧に仕事を行い、報告を自分からできるようになる。 (3) 作業工程や指示を理解し、見通しをもって主体的に取り組む力を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	1, 2年 143 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	5	○作業学習の紹介やデモンストレーションを見て、実際に取り組む。 ◆どのような学習に取り組むのか学ぶ。		実演を通して作業学習へのイメージを具体的にもてるようにする。
5	清掃活動 教室整備 紙のリサイクル	65	○掃除する必要がある場所や、掃除場所についてグループで話し合う。 ○掃除道具を使い、校内を清掃する。		タブレット端末を使い、校内の掃除の様子を撮影して活動内容を各グループで共有できるようにする。
6			◆掃除用具の扱い方や手入れの仕方を学ぶことができる。 ◆様々な場所の掃除の仕方知る。		作業日誌を作成し、取り組んだ作業内容について振り返ることができるようにする。
7			○教室内の整理整頓 ○不要なプリントのシュレッダーを行う。 ○作業道具の扱い方や片付け方について知る。 ◆各工程の手順を理解することができる。 ◆各工程を分業制にすることで作業の効率化を図る。		技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。
9					授業で培った事務作業能力などを総合的に発揮できる内容を工夫する。
10	清掃活動 オフィス事務 リサイクル	43	○自分の住んでいる地域のごみ事情について学ぶ。 ○様々なごみの種類について知る。 ○初歩的なパソコン入力を学ぶ。 ○作業道具の扱い方や片付け方について知る。 ◆自分の住む地域について知る。 ◆各工程を丁寧にに取り組むことができる。		視覚支援を用いてごみの種類イメージをもつことができるようにする。
11					作業プリントを作成し、取り組む作業内容について見通しをもつようにする。
12					
1	清掃活動 製品作り	25	○製品作りの計画を立てる。 ○製品制作や検品を行う。 ◆製品を使う相手を考えて作業する。 ◆各工程を丁寧にに取り組むことができる。 ◆目標を立てて達成することができる。		仕事の依頼者との交流を大切に、達成感を感じられるようにする。
2					
3	ビジネスマナー	5	○身だしなみを整える。 ○場面に相応しい言葉遣いをする。 ◆進路に向けてビジネスマナーを身に付ける。		グループ以外の教員とのやり取りを交えて実践的に行う
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第1・2・3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	作業学習			学習グループ名	中④
目標・ねらい	(1) 各自の課題に対しての、責任をもって仕事を果たす力を育てる。 (2) 一定時間集中して丁寧に仕事を行い、報告を自分からできるようになる。 (3) 作業工程や指示を理解し、見通しをもって主体的に取り組む力を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	萩原圭介 内田麻衣 柳堀拓也 高橋大幸 早坂あまね *飯田実和 *池田敏行				
年間授業時数	3年 141 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	5	○作業学習の紹介やデモンストレーションを見て、実際に取り組む。 ◆どのような学習に取り組むのか学ぶ。		実演を通して作業学習へのイメージを具体的にもてるようにする。
5	清掃活動 教室整備 紙のリサイクル	65	○掃除する必要がある場所や、掃除場所についてグループで話し合う。 ○掃除道具を使い、校内を清掃する。		タブレット端末を使い、校内の掃除の様子を撮影して活動内容を各グループで共有できるようにする。
6			◆掃除用具の扱い方や手入れの仕方を学ぶことができる。 ◆様々な場所の掃除の仕方知る。		作業日誌を作成し、取り組んだ作業内容について振り返ることができるようにする。
7			○教室内の整理整頓 ○不要なプリントのシュレッダーを行う。 ○作業道具の扱い方や片付け方について知る。 ◆各工程の手順を理解することができる。 ◆各工程を分業制にすることで作業の効率化を図る。		技能が身に付けられるよう継続的に作業を行う。
9					授業で培った事務作業能力などを総合的に発揮できる内容を工夫する。
10	清掃活動 オフィス事務 リサイクル	41	○自分の住んでいる地域のごみ事情について学ぶ。 ○様々なごみの種類について知る。 ○初歩的なパソコン入力を学ぶ。 ○作業道具の扱い方や片付け方について知る。 ◆自分の住む地域について知る。 ◆各工程を丁寧にに取り組むことができる。		視覚支援を用いてごみの種類イメージをもつことができるようにする。
11					作業プリントを作成し、取り組む作業内容について見通しをもつようにする。
12					
1	清掃活動 製品作り	25	○製品作りの計画を立てる。 ○製品制作や検品を行う。 ◆製品を使う相手を考えて作業する。 ◆各工程を丁寧にに取り組むことができる。 ◆目標を立てて達成することができる。		仕事の依頼者との交流を大切に、達成感を感じられるようにする。
2					
3	ビジネスマナー	5	○身だしなみを整える。 ○場面に相応しい言葉遣いをする。 ◆進路に向けてビジネスマナーを身に付ける。		グループ以外の教員とのやり取りを交えて実践的に行う
通年					